

# 円安、電気料金値上げでゴミ処理費が高騰（25年度予算より）

## 処理費用

42,552円

# 燃えるゴミ1トン

吉野川市が燃えるゴミを処理している中央環境センター（阿波市吉野町）は、焼却灰を出さないように、ゴミを燃やすのではなく「溶かす」方法で処理をしているため、天然ガスと電力を大量に使用しています。平成25年度は、円安や電力料金値上げの影響により「溶かす」ための燃料費が高騰するため、1トンあたりの処理費が24年度より2,000円上昇し42,552円になる見込みです。

燃えるゴミの袋代は変えることではないので市民生活に影響はありませんが、中央環境センターへの市の分担金は確実に上昇するため、市財政に大きな影響をあたえます。

**あまりにも高すぎるゴミ処理費。**

中央環境センターは最新式の施設とわかっていて、大量の天然ガスと電力を消費します。

1トンあたりの処理費が42,552円かかるという事は、灯油なら425リットル（小売り価格1リットル100円として）買

える金額です。つまり1トン（1,000キロ）のゴミを処理するために、425キロの灯油を燃やしていることになります。これはいくら何でも高すぎます。

ちなみに、以前に鴨島町や川島町にあったゴミ焼却場は、中央環境センターの五分の一の費用で処理できました。

**ゴミ減量化の取り組み、いよいよ重要に**

ゴミ処理費が1トンで42,552円だと、一キロの処理費は約43円になります。市指定のゴミ袋には三キロから五キロのゴミが入りますが、仮に五キロなら処理費は約215円かかることになります。

ゴミ減量化は、中央環境センターへの分担金を減らすことになり。市は気を緩めずゴミ減量化に取り組みべきです。



燃えるゴミ一袋の処理費用215円

# ゴミ減量化の取り組み、いよいよ重要に

## 下女の辻大橋など耐震補強

### 緊急経済対策なのに市外の業者へ?

市は今年度中に市道にかかる橋の耐震補強工事を行う予定です。この工事は、安倍内閣の緊急経済対策として行われます。

予定されているのは、川島町では「下女の辻大橋」「宮島橋」、鴨島町は「みかわ橋」「十二騎橋」、山川町では「ほたる橋」、「川田橋」の八橋で、設計・測量と工事請負費に3億2450万円の予算がつけられています。



川島町の「下女の辻大橋」

吉野川市で行う緊急経済対策ですから市内の業者が請け負えばいいのですが、市は「専門的な工事のため市内業者への発注は難しい」と説明しています。地元経済が潤うように市は分離発注など工夫してほしいものです。



## 善入寺でイノシシ被害

### 猟友会が箱罾で四頭捕獲

善入寺でイノシシの群れが、農作物を食い荒らしているとの情報が市によせられています。

善入寺は阿波市と吉野川市の区域になっており、阿波市では被害情報を受けて猟友会に捕獲許可を出しています。阿波市に確認したところ、三月の三週間四頭のイノシシが「箱罾」で捕獲されています。

吉野川市でも4月より個体数調整のため捕獲許可を出す予定ですが、善入寺に生息するイノシシを優先的に捕獲してもらおうよう猟友会に要請する見通しです。なお、善入寺での捕獲は箱罾とくり罾を用いて行われるそうです。